

民間企業によるつくばWANの利活用の可能性

本格運用開始当初は、国の研究・教育機関等だけの接続が予定されていますが、ネットワークのオープン化等による今後の民間企業との連携も検討されています。以下に例示するように、民間企業による多様な利活用方法があると考えられます。

つくばWANによる共同研究成果を活用した産業創出

つくばの科学技術集積から生み出される共同研究成果を活用した新技術・新産業創出が期待されます。

ITの実験室としてのつくばWANの活用

「スパコンが密接して存在し、グリッドの研究ができる環境は国内ではつくばWANだけ。」

「つくばWANは、ペタバイトクラスの大容量ストレージ技術検証の場。」

という意見もあり、最先端ITの発展、関連施設の立地などが期待されます。

民間企業によるつくばWANの直接利用

つくばWANの民間利用については、「新薬開発や機械部品の設計などをスパコンで行う必要が増しており、産業界の期待も大きいとみている。(13.9.3 日本経済新聞記事より)」など、様々な可能性が期待されます。

**運用開始を記念してつくばWANシンポジウムを開催します。
多数の皆さんの御参加をお待ちしています。**

日時：平成14年3月22日(金) 10:00～17:00

会場：つくば国際会議場(エポカルつくば)

申込：<http://www.ics-inc.co.jp/wan>